学校番号	２１０２

令和２年度　芸術科

教科	工芸	科目	工芸Ⅰ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	工芸Ⅰ　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段何気なく使っているものや身に着けているものを自分の手で作ることで、生活の中に深く根づいた“工芸”を再発見しよう。
・素材を知ろう、道具を知ろう、ものを作る楽しさ、完成させる達成感を知ろう。
・課題はすべて完成させ、提出すること。

2　学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化に愛着と尊敬の心を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:工芸への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基ずいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	メタルエンボシングによるネームプレート	【表現】 ・アイデアスケッチ 文字と背景の打ち出し(アルミシート)と縁飾り(段ボール)のデザインを考える。 ・制作 メタルエンボシングによる打ち出し アクリル絵の具による着彩 段ボールの質感やハニカム部分を利用して縁飾りを作る	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○		a:アルミや段ボールの素材の特徴を活かしているか。 異素材を上手く調和させている。 b:それぞれの素材の長所・短所を理解し工夫している。 c:完成目標にむけて手順を計画的に考え、完成度をあげるための工夫と努力をしている。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作の様子 作品
	スプーンを作ろう。	【鑑賞】【表現】 ・スプーンの使いやすさとデザインについて考える ・アイデアスケッチ ・制作 工具を使ってスプーンを削り出していく。 削りや磨き等の細かい丁寧な作業を繰り返す。 仕上げ	○	○ ○	○	○	a:“木”という素材に向き合っている。 道具の使い方に興味を示している。 b:使いやすさ、美しい形、バランスを意識してデザインしている c:スプーンを一つの木片から立体的に削り出していくことを理解し、計画的に作業できている。 道具の使い方を理解している。 丁寧な作業と仕上げを心掛けている。 後片づけがしっかりできている。 d:昔から使われてきた道具がどのようにデザインされているか、用と美について興味を示している。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品 アイデアスケッチ 作品 作業工程 作品 後片付け 発言内容 作品

	きり絵によるランチョンマット	【表現】 ・制作 原画をもとに色画用紙を デザインナイフで切り抜き 透かし模様をつくる。 バックの色画用紙に配置し ラミネート加工する。	○	○	○		a:デザインナイフを使って細かく美しい切り抜き表現をすることに意欲的に向き合っている。 b:きり絵の特性を生かし、作品と背景の色彩を工夫して構想を練っている。 c:紙や用具の特性を生かし、丁寧な仕上げを目指している。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	焼き物をつくろう	【鑑賞】【表現】 ・陶芸の基本を知ろう ・アイデアスケッチ ・制作 手びねり・たたら板成型。 必要な用具等を用いて制作を行う。 底を削り全体の形を整える。 色化粧土掻き落としで装飾する。 素焼き後、釉がけをし本焼きする。 窯詰め・窯出しを生徒に手伝わせる。	○	○	○	○	a:何気なく使っている器の原材料の成り立ちや成型方法、焼成温度など基礎知識に興味を示し、成型においても粘土という素材や道具に意欲的に向き合っている。 b:器としての使いやすさ、美しさを考えて構想を練っている。 c:粘土や用具の特性を理解し、特性を生かした表現方法を工夫している。 d:伝統的な陶芸の表現の特性や様式、日本の生活に根付いた陶芸について理解を深めている。	鑑賞活動での理解度 製作途中の作品 作品 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 発言内容 作品への反映
	樹脂を使ったコースターを作ろう	【表現】 ・アイデアスケッチ 模様や文字のデザインを各自考える。 ・制作 品ベニヤをカットし、柄を描く。 マスキングして樹脂を流し込む。 研磨し仕上げる。	○	○	○		a:樹脂という素材に興味を示し、特徴を活かしたデザインを考え、完成に向けて努力している。 b: オリジナリティ豊かなデザイン・色彩を考えている。 c: 計画性のある丁寧な仕事を心掛けている。	アイデアスケッチ 制作の様子 アイデアスケッチ 作品 作品

	広告を使ったリース作り(Xmas・正月飾り)	【表現】【鑑賞】 ・X'masリースや正月飾りをあらためて見てみよう。 ・アイデアスケッチ ・制作 広告を丸めて棒を作る (42本)棒をつなげて21本の長い棒にし、まとめて編み込み、リースにする。 ラッカーで色を付ける。 オーナメント作り 紙粘土・折り紙・木の実等彩色。 グルーガンでリースとオーナメントを接着する		○ ○	○	○	a:広告からリースを作るという素材の意外性と活用の仕方に興味がある。 素材の面白さを十分に生かした表現ができる。 b:素材の特性を生かし、工夫して構想を練っている。 c:素材の特徴を捉え、計画的に制作できている。 「結わえる、編み込む」 の作業を理解している。 d:伝統的なリースや正月飾りの構造や、オーナメントのつけられ方や特徴を理解している。	制作の様子 作品 アイデアスケッチ 制作の様子 作品 発言内容 作品への反映

※　表中の観点について　a:工芸への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。